

年頭所感

祈る心

貫首 大山隆玄

平成二十八年丙申の新春を迎えるに当たり、先ず以つて国土安穩・復興促進を祈念し、御信徒各位の健康と隆昌をお祈り申し上げた次第であります。

平成二十七年という年を振り返ります時、當山に於いて旧年は誠に意義深い年でありました。



俊然楽天真

心ひろびろと、ありのままに生を樂しむ

俊然楽天真

高尾山隆玄



俊源大徳による高尾山中興六百四十年を記念致し、御前立御本尊・飯縄大権現御尊像が新たに造立奉安され、昨年五月二十一日には前日の雷鳴轟く春の大嵐により、全山が洗い清められた快晴のもと、賑やかに開眼法要を執り行う事ができました。

本浄行が無魔完遂致しました事は仏天の御加護はもとより、偏に高尾山各御講中、並びに十方有縁の御信徒各位による、御信援の賜物と深謝の意を表する次第であります。



一年の平安を祈る大山御貫首

お陰様で新たに御本尊様をお迎えするにあたり、御本尊様の御威光を高く仰ぎ、高尾山飯縄信仰を高揚発展せしむる事が肝要であり、その責任の重さを痛感致しております。

微力ながら、御本尊様の御威徳の顕彰に精進する覚悟を新たにしておるものであります。

省みますに、色々な意味で期待と不安の入り混じる新年を迎えたのでありますが、生々流転、何かと心の起伏がつきまとうのも人生であります。

その中で唯一変わらぬものと致しまして、神仏に対する祈りの心ではないかと思うのであります。

祈りとは、よりどころを仏に定め、自己の心を見つめる事から始まり、そうした正しい信仰の中から安心が得られ、生きる力が湧き起こるのであります。

新たに奉安されました御本尊・飯縄大権現様の御霊徳が、いよいよ広く現代社会の隅々にまで及ぶ事を、切なる願いとして御祈念申し上げ、年頭の言葉にかえさせて頂きます。

合掌

平成二十八年 丙申 元旦